

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 あい愛	代表者	堀越 正子	法人・ 事業所 の特徴	楽しく和気あいあいとした場を提供します。 住み慣れた地域で心豊かに暮らしていただけるように生活のサポートをしていきます。 一人暮らしを不安に思ってお年寄りが安心して暮らせる場を検討します。
事業所名	あい愛クラブ	管理者	石川 浩子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	人	人	1人	人	1人	1人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	継続して記録を職員間で共有を行い、研修に参加して職員全体の質の向上を行っていく。	ご利用者の状態を記録し、職員で共有している。研修に参加し、得た情報を、職員全員に伝え、全員が同じように、ご利用者の状態に合わせた介護が出来ている。	職員全体で研修内容や、ご利用者の情報の確認するなど、質の向上に努めていることがわかった。	今後も研修会や小規模連絡会に参加し、必要な情報を取り入れながら、事業所の質を高めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	今後もしつらえや来訪者に快適に過ごしていただけるように、環境を整えていく。	台風で停電することもあったが、損壊は無く、しつらえに影響はなかった。玄関先に季節の花を置き、職員氏名の表示を続けるなど、良い環境を保つように努めている。	気軽に訪れるようになっていく。インフルエンザなどの感染症対策の掲示は引き続き必要とされる。	今後もしつらえや来訪者に快適に過ごしていただけるように、快適な環境を維持していく。
C. 事業所と地域のかかわり	今後もシェイクアウト訓練などご利用者と共に参加できる地域行事に取り組んでいく。	シェイクアウト訓練にご利用者と参加した。遠山中の職場体験、子ども110番受け入れを行っている。遠山あおぞら会の方に買い物ボランティアに参加していただいた。	台風のため、遠山地区敬老会は開催されず、参加できず残念だった。停電時、地域の方が事業所を頼って来ていただき、支援できたことは良かったと思われる。	今後もシェイクアウト訓練などご利用者様と共に参加できる地域行事に取り組み、地域とのかかわりを深めていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	引き続き地域に出向いて、ご利用者に必要とされる支援ができるよう、地域の方と連携していく。	ご利用者の生活スタイルに合わせ、地域での暮らしをサポートした。ご家族やご近所の方、コンビニの方に協力いただいた。遠山あおぞら会や本三里塚夏祭りに参加させていただいた。	地域の方との連携は大切なので今後も取り組みを続けてほしい。	今後も 地域の中で ご利用者が望む暮らしをできるように支援していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	今後も運営推進会議を通して防災訓練等を行い、地域との連携等について進めていく。	地域の防災について連携を図ることができた。台風で停電した際、共同利用施設の利用案内など、必要な情報、提案などをいただき、会議で情報共有し、地域との連携を一層進めることができた。	運営推進会議にて、必要な情報を得ることができた。市内の水が溜まったり、見通しの悪い道路を確認できた。	運営推進会議を通して、様々な意見・知識を取り入れさせてもらいながら、地域に根差した事業所になることができるようにしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	災害は起こりうる事であり、常に防災、減災の意識を持って事前の備えを行っていく。	火災・地震を想定した避難訓練を実施した、発電機・ヘルメットを用意、台風災害による停電時に、近隣の高齢者の方の支援を行うことができた。	台風被害、停電、水害など、今まで想定していた火災・地震対策だけでは不十分で、発電機の使用方法の確認など、今後、様々な災害への取り組みを進めていることがわかった。	今後も災害に備えて、常に防災、減災の意識を持って事前の備えを行っていく。